

知識を磨き 豊かな心と たくましい体をもった 生徒の育成

令和3年度 第32代校長 松田昌樹

本校は、昭和12年創立の「甲府市立男子高等小学校」を源流に、「新学制」の実施による市内で最初の中学校として、甲府市立東中学校・北中学校・南中学校の3校とともに昭和22年4月22日に開校し、本年度で創立75年目を迎えます。学区の中心を流れる荒川の東側にはJR甲府駅南口側の中心市街地が、西側は田園風景の中に新興住宅地区が広がっており、山梨県立大学や4校の高等学校が所在するなど、市内でも有数の文教地区となっています。また、本校は平成11年度まで、八ヶ岳山麓に独自の林間学校寮「青雲寮」を有していたことや、生徒による討議を重ね昭和45年度には市内でも早い段階で男子頭髪を自由化するなど、長い歴史の中で生徒の自治的活動を大切にしながら、特色ある教育を展開してまいりました。

こうして築かれてきた校風は現在も引き継がれており、登下校時や来校者への明るい挨拶、無言でしっかりと雑巾がけをする清掃、時間を守り中学生らしい爽やかな生活など、生徒たちは「挨拶・清掃・時間」の3つを本校の良き伝統として大切にしています。また、落ち着いた雰囲気の中で「誇れる西中」を合い言葉に、388名の生徒が学習や部活動に前向きに取り組んでいます。

令和3年度は、学校教育目標「知識を磨き、豊かな心とたくましい体をもった生徒の育成」の具現化に向け、新学習指導要領の全面実施に対応した適切な教育課程の編成と実施や、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた組織的な授業改善、道徳教育・人権教育の推進等による思い遣る心の育成など6つの重点を定め、生徒一人一人の善さや可能性を伸ばす学校づくりを進めております。また、校内研究におきましては、研究主題を「主体的・対話的で深い学びの実現～授業改善と学級づくりを通して～」とし、一人一実践やICT機器を活用しての授業改善を進めるとともに、その基盤となる学級づくりを重視し「学級力向上プロジェクト」などにも取り組んでいます。本年度は、全ての生徒の確実な成長をねらい、認め合い・学び合い・高め合う前向きなトーンをもった集団づくりを大切にすることや、生徒一人一人の「まじめさ・誠実さ・我慢する力や頑張る力」などの非認知的能力を育むことを全職員で確認し、これまで以上に熱意と創意あふれる教育活動を展開してまいります。

保護者・地域の皆様、そして教育支援ボランティアをはじめとする皆様には、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、本当にありがとうございます。恵まれた素晴らしい教育環境の中で、本年度も教職員一同全力で「全ての子どもたちの成長に責任をもつ学校づくり」を推進してまいりますので、今後ともさらなるご支援・ご協力を宜しくお願いいたします。

